

1 吉田村アグリツーリズム推進協議会 栃木県 下野市

とらぎけん しもつけし

農泊

お洒落な農村「吉田村」で地域活性化！

活動の経緯

下野市吉田地区は、課題となっていた農業従事者の高齢化や少子化による人口減少の解決のため、数人のグループで新たな農と食に特化した村まつりによる地域活性の活動を始める。地域の中心にある農協跡の歴史ある大谷石蔵を拠点とした農泊とアグリツーリズムを展開するため協議会を設立。

活動の概要

農と食と音楽の収穫祭「吉田村まつり」でお洒落な農泊プロモーション



大谷石蔵に囲まれる農協跡地が会場



近隣の若手農業者が運営やマルシェ

活動の成果、主な実績等

地域の農協跡に飲食店ができたのをきっかけに、地域の農産物のPRと、少子高齢化による地域の衰退を危惧し地域活性の試みとして、マーケットに寄せた新しいカタチの収穫祭を開催した。初年度は集客数6百人程度から始まった祭も、6年目には8千人超の集客があり、県内でも人気のイベントとなった。

地域住民（村人）の収穫祭に市内外の客（旅人）が訪れ、広大な田畑が広がる地域の景観や空気感、アイリッシュの軽快な音楽に、美味しい食。マルシェでは、作家等の物販や地域の農産物を堪能できる牧歌的なイベント。若手農業者が中心となり子供達が職業体験として運営するゲームや駄菓子屋、高齢者が伝統の藁細工のワークショップを行い、来訪者をもてなしながら主催側も楽しめる多幸感に溢れたイベントとして、SNSで優良な情報が発信されている。

違った角度から農村の魅力を発信しお洒落な農村として認知され、イベント自体が農村体験となり、優良なコンテンツとなった。6年目は、イベント内で農村ウェディングを行いPRに繋げることができた。